

JP子どもの森づくり運動
「全国集会&研修会2021」Online大会
アンケート集（1日目）

【お断り】

アンケートは記名にてお送りいただきましたが
ここでは無記名にてご紹介しました。

2020年2月

NPO法人子どもの森づくり推進ネット

1. 今回の研修会で良かったものをお知らせください。（複数選択）

併せて、良かった理由についてもお聞かせ下さい。（良かった！カウント数）

1) 基調講演～こどもの成育環境とコロナ禍～●講師：仙田満先生（8）

* 自然環境の中で遊ぶことの重要性を改めて感じることができました。山や斜面で遊ぶことが子どもの発達に影響があることを感じることができました。

* 全体的にありがちな保育内容や保育環境の研修ではなかっただけに興味深く、また自園の環境や戸外遊びの内容の見直しにもなりました

* 仙田先生は子ども環境学会でもご縁を頂いていますが今回は特にコロナ禍の話と紐づけて頂いたので、子どもの育ちに焦点を当ててもらえていただけ、モヤモヤがすっきりしました。（学校の休校等）遊びで獲得する5つの能力、これは私たち保育者が常に考えている遊びの中に学びがあり、生きる力が培われるということを裏付けていただけました

* 仙田先生を始め実際の建物や遊具などがあり、イメージがすぐ持てました。今回の研修で乳幼児期からの自然遊びの経験が大切であることを再確認しました。私自身が田舎で育ったのでその経験を活かして、一緒に自然遊びをし、子どもたちが自主的にあそび込める保育に活かせると考えました。また、園内で出来ること、園外の公園や施設で経験出来ること・子どもの頃に遊んだ中での経験がどう保育につながるか職員で検討し、代用できるあそびは何かを共有する事で保育を展開したいと思いました。

* 今の現在のリアルな状況を聞くことが出来て良かったです。今後の保育に十分に活かすことが出来るなと感じました。ありがとうございました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大のもと、この一年間新しい生活様式の中、今できる限り精一杯の感染防止対策を取りながら保育を進めていく中、今回、仙田満先生のお話を拝聴して、コロナ禍においても子どもが育とうとする姿は変わりなく、アタッチメントの環境の必要性を改めて確認することができました。また写真などの資料も多く沢山の情報を視覚で得ることもでき、分かりやすかったです。

2) パネルディスカッション～新型コロナ感染症下のこどもの体験活動を考える～

● パネラー：仙田満先生 岡村齊先生 唐住康雄先生（6）

* 弊社がプロデュースしましたPEP Kidsの事例を出していただき、震災後の子どもたちのあそび環境のお話をしていただきました。その後、現在のコロナ禍における保育環境での遊びの変化を現場の先生方のご意見聞きながら、これから必要になるソフト、ハード両面でのあそび環境やコロナ禍における子ども目線でのガイドラインの必要性を考えることが出来ました。

* 自園も感染対策を取りながら、基本的には行事もクッキングも宿泊保育も行っていたので皆さんのお話を伺って、「やってよかった」という安心感がありました。お話を伺えてよかったです。

* 子どもの成育に関して真摯な取り組みを共有されているのが興味深かったです。コロナに対する価値観は健康、後遺症等々と生命の根幹に関わる問題なので各家庭の価値観に依存するので、意思を取りまとめるのは非常に困難だと思います。園の維持とwithコロナの世界でどう子供の成育に携わるか、大変な状況を知る事が出来ました。

* パネルディスカッションにおいても、パネラーの先生方の各々の地域や園での感染対策などの情報が知ることができて良かったです。(今年度はこの状況の中、研修に参加する機会もなかったのです)

* 現場の実践、実際がお聞きでき、整理しながら拝聴しました。

3) 園庭緑化運動事例発表 (エンゼル幼稚園・三茶こだま保育園・こども園ほしのこ) (7)

* すべてのプログラムが参考になりましたが、現場として具体的な事例発表が今後の参考になりました。

* 園庭緑化の事例発表は、プレゼンテーション技術をもう少し頑張ってください。

* 実践発表をお聞きし、園庭緑化を推進するためのご苦労や進め方など大変参考になりました。私自身が植物大好き人間なので、実のなる木や、ハーブ、お茶になる花、染色、ドライフラワーづくりなどの活動を展開できるガーデン作りに励んでいます。

* 実例を拝見させていただき、幼稚園、保育園、こども園での実際の取り組み（取り組みの進め方）を発表していただいたので、イメージしやすかったです。

* 子どもたちが「登園したい」と思うような環境作りをしていきたい。その中で、子どもたちに経験して欲しいことを職員の中で話し合い、今の園でどのように環境を整えたら経験できるのかを改めて考えていきたいと思いました。今の保育を見直していきます。

* 3つのモデル園がどのように園庭整備を考えていったのかがよく分かった。まとめの中で、大人主体で考えがちであるが、子どもの現在の遊びや姿を豊かにしていくには何が必要か、という視点考えるということは、実際に陥ってしまいそうな点であるので参考になった。

4) 園庭緑化運動2020年総括 ● 講師：仙田考先生 (8)

* 具体的に園庭緑化を進めるにあたっての話が参考になった。単に環境を整えるのではなく、日々の子どもの姿をよく見ることから始める、というのが印象に残った。

* 新型コロナウイルス感染症拡大のもと、この一年間新しい生活様式の中、今できる限り精一杯の感染防止対策を取りながら保育を進めていく中、今回、仙田考先生のお話を拝聴して、コロナ禍においても子どもが育とうとする姿は変わりなく、アタッチメントの環境の必要性を改めて確認することができました。また写真などの資料も多く沢山の情報を視覚で得ることもでき、分かりやすかったです。

* 子どもにとって外に出て遊ぶことの大切さ、発達にとっても影響があることを改めて知ることができました。モデル園を見ることが参考にできることもたくさんあると思います。

2. 今回の「全国集会&研修会」全般について、ご意見があればお聞かせ下さい。

* すべての研修にてとても学びがありました。

* 初めて参加させて頂きました。全国の多くの園さんが、より良い環境を考え工夫されていること、またさまざまな団体、職種の方々が子どもたちまた、未来のことを考え活動されていることに敬服いたしました。

* ・初めて子森ネットの研修に参加させていただき、幼児期の遊びの大切さを改めて感じることができ、自然環境の中で遊ぶ経験をたくさんできるようにしていきたいと思いました。

* 初めて参加させて頂きました。色々勉強になりました。オンラインなので大阪(居住地)からも参加しやすかったです。

* 運営側のご配慮が大変だったかと思いますが、まだまだコロナ元年、WEB元年で受講者のマナーが整っておらず途中のミュート外しが残念でした。批判ではなく、わが身に置き換えて今後の留意点にしたいと思います。

* プログラムの多様さに感謝です。

* 見逃し配信をお願いしたい！

* リモートでの開催はとてもありがたかったです。資料等も事前にデータで送っていただけたのもとても良かったです。予習的に拝見することができました。

* 見逃し配信があったら嬉しいです。

* オンライン研修というものに初めて参加させて頂き、またzoomも初心者だったので、事前説明会を行って頂き、ありがたかったです。それでも当日は音声や画像の面で、不安定になることがあり、実際の研修より疲労感を感じました。しかし、今回は園の生活発表会前日と、当日という日程で、オンラインでなければ出席不能であったので、今回このような状況の中、オンライン研修会を開催して下さい事に心より感謝申し上げます。

* リモートでの参加でしたが、とても聞きやすく勉強になることばかりで、有意義な時間となりました。

* 私達もE S Dについては、自園の保育内容との繋がりを考えていこうと思っているので、そうした取り組みをいろいろ教えていただけると嬉しいです。

* 初めて参加させていただき、今後の園庭を考えていく上で参考になることが多くありました。

* リモート研修のおかげで気軽に参加出来る環境なのでとてもやりやすかったです。今後とも宜しくお願いします。

3. J P子どもの森づくり運動で今後取り組むべきテーマについて、ご意見をお聞かせ下さい。

* 「園庭緑化と園庭遊具の複合的な関わり」園庭緑化のお話の中で、「遊具と自然の関係性」や「あそびの連動性」に悩まれているといったことがあり、。自然と遊具が調和することでより良いあそび環境の実現が可能かと思えます。

* 関りがなければNPO法人子どもの森づくり推進ネットワークさんの活動も知る機会がなかったと思います。また、森づくりをテーマにした団体さんも他にたくさんあり、保育現場でそれを把握し活動することは難しい点があるように感じます。園庭緑化運動はこれからの時代には欠かせない課題だと考えます。またやってみたい園さんも多いように感じます。保育関係の情報誌、機関紙等に子森ネットさんの活動を紹介、特集して頂くなども必要だと感じました。参加させて頂きありがとうございました。

* 子どもの自然遊び、自然体験を促せる保育士の育成は重要だと思います。

* 子どもの森=子どもの居場所づくりでもあると思います。そこだからできる、場所があるからできる…のではなくどこでもこれならできるというミニマムスタンダードを示していけるような、特別ではない実践、特別ではない環境づくりそれもお示しいただければと思います

* 私の家庭環境を有効に活用し森林組合や農家さんと連携し、一緒に子どもたちと実際に山に行き、山の事について学ぶ機会を設けてみるのはどうだろうかと考えました。(実体験からの学び)

* 幼児期からの環境に対する教育活動だと思います。

* 自然物遊びや、ガーデンマップ作り、植物マップ作り

* 大変参考になるので引き続き3つモデル園の変化等を知りたいです。今回は研修に参加させて頂きありがとうございました。

* これからの保育において、コロナ禍や自然体験学習についてまだまだ模索が続く毎日ですが今できる最善は何かを共に探し実行していける場であることを願います。これまで人類が数限りない試練を乗り越えてきた偉大さを励みにしながら、防災教育や自然体験学習の様々な事例をあげながら、命を守っていく、つないでいく事を共有できる大切な研修会であると思います。ありがとうございました。